

科目名	救急法			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択 必修

〔授業の目的・ねらい〕

リハビリテーションを実施する上で必要なリスクについて学び、評価や対応方法を学ぶ。リハビリテーションの対象疾患に処方される代表的な薬剤について学ぶ。救急医学を理解し、患者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

リハビリテーションを実施する上での急変の原因（状態変化、薬剤による副作用など）について講義を行う。救急医療に必要な知識に対する講義、患者の急変時での基礎的な観察・処置を実習で実施。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

リハビリテーションの対象疾患における状態変化や薬剤による副作用について理解し、理学療法思考に応用させることができる。患者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。

回数	講義内容
1	リハビリテーションにおけるリスク管理 総論
2	リハビリテーションにおけるリスク管理 各症状の特徴理解
3	リハビリテーションにおけるリスク管理 各症状の画像
4	リハビリテーションにおけるリスク管理 生検検査値基準
5	リスク管理に必要な薬剤管理
6	リスク管理に必要な薬剤管理
7	状態変化時の対応
8	安全管理のためのガイドライン
9	急変時の対応
10	応急処置 基礎知識
11	応急処置 実技
12	心肺蘇生法；成人/AED 基礎知識
13	心肺蘇生法；成人/AED 基礎知識
14	心肺蘇生法；成人/AED 実技
15	心肺蘇生法；成人/AED 実技
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
内科学と同じ		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験で判定する（ELT）・実技試験で判定（PT）